提案のサンプル

卒業生インタビュー記事で、「私にもできそう」を届けませんか

クラウドワークス アカデミーのサイトと、似た講座7つのページを見て考えた改善案です。
取材から記事・画像づくりまでを、私が担当する想定で書いています。

2026年11月 作成 **宮内 瀬奈**

SUMMARY

01 いまのサイト
卒業生の動画やインタビューは心強い材料です。ただ、分野ページのインタビュー記事は一部の分野だけで、生成AI分野にはまだありません。

02 似たサービスとの違い
値段・期間・添削の手厚さは、ほかに無い強みです。いっぽう似た講座の多くは、受講生の声や作品をページの中で見せています。

03 提案
卒業生インタビュー記事を、話の少ない分野から増やし、講座ページからも読めるようにします。まずは1本を試しに作る進め方を考えました。

01 SITE

いまのサイトで分かったこと

副業を始めたい人が初めてサイトに来た、という目線で、トップ・講座一覧・分野ページ・相談会・お役立ち情報を見ました。

すでに伝わっている良さ

- 全講座 **39,600円・3週間** で、値段と期間がわかりやすい
- 次の開講日と申込締切がトップに出ている
- 卒業生の**密着ドキュメンタリー動画**があり、受講前と後の変化が伝わる
- 適性スキル診断・無料相談など、迷った人の入口がある
- 記事の最後から、関連する講座へ進める

整えると、さらに伝わりやすくなる点

- 32講座の中から、**自分に近い人がどの講座で変われたか**を見つけやすくすると、講座を選びやすくなる
- 受付停止中・期間未定の11講座に再開の目安があると、待つか別の講座にするかを決めやすい
- セミナーの受付状況を新しくしておくと、初めての人も安心して申し込める
- 同じ卒業生の成果の数字をページ間でそろえると、実例がさらに信頼される

卒業生の話が載っている分野が、かたよっています

分野ページの卒業生インタビューの数（読んだ範囲）。生成AI分野は6講座ありますが、分野ページに載っている卒業生インタビューはまだありません。いっぽうで、Claude Code講座のページには受講生のnote記事が3件紹介されています。**すでに体験を言葉にしている方がいるので、取材のお願いもしやすく、まず生成AI分野から始めるのがよい**と考えました。

3人 動画編集	**3人** デザイン	**2人** ライティング	**1人** 仕事獲得
0人 生成AI（6講座）	— ビジネス	— Webサイト制作	

「—」は、読んだページでは人数を確かめられなかった分野です。

※ 2026年11月15日に見た内容です。academy.crowdworks.jp のトップ、/course と分野ページ7つ、/consultation、/articles を見ました。

02 COMPARE

似たサービスとの違い

Claude Codeを学べる講座を中心に、似たサービス7つのページを見ました。
代表的な4つを表にしています。

サービス	値段	期間	添削・個別の支援	受講生の声・作品の見せ方
クラウドワークス アカデミー	39,600円	3週間	メンターに何度でも質問、課題の添削	トップに卒業生の動画。分野ページにインタビュー（分野にかたよりあり）。Claude Code講座はnote記事へのリンク3件
A社（月額の学び放題）	月1.6万円〜	3か月〜	LIVE講義、公開添削、メンター	このコースのページには受講生の声なし。著名人のコメント、作れるものの画像
B社（長期スクール）	40万円〜	8週間〜	マンツーマン	卒業生の声と制作事例をたくさん掲載
C社（無料の短期講座）	無料	4日間	課題あり	参加者の声3件をページの中に掲載
D社（動画の講座）	数千円〜	数時間	講師が質問に回答	★の評価とレビューをページ上部に表示

※ 2026年11月15日時点で各社の公開ページを見て整理しました。値段・内容は変わることがあります。

アカデミーにしか無い強み

- 無料の入門より深く、長期スクールより短くて安い、**ちょうどいい位置**
- 添削つきで、**副業の仕事に直結する成果物**まで作る
- 「クラウドワークス」で実際に仕事を取った卒業生がいる

ほかのサービスの工夫

- 受講生の声を、ページを離れずに読める
- 受講後に何が作れるかを、作品で見せる
- 評価や人数で、受けた人の多さを見せる

「仕事を取った卒業生の実例」は、アカデミーがいちばん強く見せられる材料です。その実例を、すべての分野で読めるようにすることを提案します。

03 PROPOSAL

提案：卒業生インタビュー記事を、話の少ない分野から増やす

課題

- 生成AI分野は6講座ありますが、分野ページに載っている卒業生インタビューはまだありません。ほかの分野も1〜3人です。
- 講座ページから卒業生の話へのつながりが少なく、「この講座を受けた人がどう変わったか」が読みにくい状態です。
- 初めての人は「未経験の私にもできるのか」でいちばん迷います。その答えになる実例が、分野によって足りていません。

変えること

- 卒業生へのオンライン取材をもとに、インタビュー記事を作ります。**まず生成AI分野から**始め、話の少ない分野へ広げます。
- 記事は卒業生インタビューの一覧に載せ、**受けた講座のページと分野ページからもリンク**します。
- 成果の数字は、ご本人と運営の方に確かめてから載せます。

記事の流れ（案）

1. 受講前の状況（本業、副業の経験、不安だったこと）
2. この講座を選んだ理由
3. 受講中につまずいたことと、メンターの添削・質問で乗りこえたこと
4. 受講後に取り組んだ仕事・作ったもの
5. これから受ける人へのひとこと

進め方

01	02	03	04	05
取材する方を決める（運営）	質問案の確認	オンライン取材	記事・画像の作成	ご本人・運営の確認と修正

03 PROPOSAL

期待できる変化と、私ができること

期待できる変化

- **迷っている人の後押し**：自分と近い人の受講前と後を読んで、「私にもできそう」と思いやすくなります。
- **講座ページの説得力**：講座の説明に、受けた人の実例が加わります。
- **アカデミーらしさが伝わる**：値段の手ごろさ、添削の手厚さ、「クラウドワークス」で仕事を取れたことを、卒業生の言葉で伝えられます。
- **ほかの発信にも使える**：記事の一部を、SNSやメールマガジン、無料相談会の資料にも使えます。

効果の見立て **大** 初めての人がいちばん迷う「未経験の私にもできるのか」に、卒業生の実例で直接答えられるためです。

6ページ目のほかの案と同じ物差しで、私なりに見立てたものです。数字で効果を約束するものではありません。効果の大きさは、記事の数や載せる場所で変わります。まず1本で、読まれ方を見ながら進めるのがよいと考えています。

私ができること

取材（聞き取り）

本業の法人営業で、相手の話を聞き取り、すり合わせてきました。卒業生の方が話しやすいように進めます。

記事の作成

働く人に向けたコラムをnoteで書いています。共感から入り、体験を具体的に伝える書き方が得意です。

記事の画像

記事のアイキャッチや、SNSで紹介するバナーも作れます。

AIを使った下準備

質問案や構成案をAIで素早く複数出し、人の目で仕上げます。ご本人の体験そのものをAIで作ることはしません。

まず1本を作り、内容と進め方を確認してもらう進め方にしています。

実際に進めるとしたら、運営側に決めてもらうこと

- 取材する卒業生の方の選定と、取材の依頼
- 記事に載せてよい内容・数字の範囲と、掲載の場所
- 1本あたりの費用と納期

04 OTHERS

そのほかに考えた改善案

今回は卒業生インタビュー記事を選びましたが、ほかにも次の案を考えました。選ばなかった案も、課題と効果の見立てをつけて残しています。

#	改善案	いまの課題	効果の見立て	私の関わり
1	**講座ページに時間の目安と成果物の見本を載せる**	動画の本数・1週間の作業時間・成果物の見本が無く、忙しい人が判断しにくい	**大**	文章と見本画像
2	**「どの講座から始める？」の案内記事と図**	32講座を比べる表が無く、入口も4つあって迷いやすい	**中**	記事と図
3	**講座ごとに、その仕事の募集の多さを見せる**	「今求められる仕事の講座」という強みが見えにくい	**中**	公開情報の調査と図 ※データの公開は運営側の判断
4	**受付状況のラベルと、停止中の講座の案内**	受付停止中・未定が11講座あり、再開の目安や代わりの講座が分からない	**中**	案内文
5	**成果の数字に根拠と注記をつけ、ページ間でそろえる**	成果の数字の根拠が、ページによっては分かりにくい	**中**	— ※表現は運営側の判断
6	**情報の定期点検**	案内の更新日が分かると、初めての人も安心して申し込める	**小**	点検とリスト化
7	**申込締切が近い講座の告知バナー**	締切が講座一覧の中にあるだけで目立ちにくい	**小**	バナー制作
8	**相談会の予約にLINE以外の方法を足す**	予約がLINE経由だけに見え、LINEを使わない人が予約しにくい	**小**	— ※仕組みは運営側の判断

「効果の見立て」は、見込み受講生が申し込むかどうかへの影響の大きさを、私なりに見立てたものです。数字で効果を約束するものではありません。「※運営側の判断」の案は、費用や方針など運営側の判断が必要なものです。